

令和7年5月吉日

関係機関 各位

みやぎ精神科デイケア研究会事務局

第28回 みやぎ精神科デイケア研究会のお知らせ

貴職には、時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第28回みやぎ精神科デイケア研究会を下記の内容で開催することになりました。みやぎ精神科デイケア研究会は平成9年6月に第1回目が開催されて以来、宮城県内の精神科デイケアの交流と研鑽を目的に実施して参りました。県内精神科デイケア8機関の現場担当者が世話人として企画・運営を担っております。近年は山形、福島の日ケア連絡会にも周知し、宮城県以外からの参加者も増えております。

今回は千葉県の肥田クリニック肥田裕久先生をお招きしての講演を予定しております。またこれまで通り分科会と各分科会で話し合われた話題の全体共有を行います。他デイケア機関の担当者との交流や日常の取り組みの振り返りとして是非ご参加ください。参加をお待ちしております。

記

日時： 令和7年6月28日（土） 13:10～17:30

場所： 原クリニック（仙台市青葉区昭和町2-25 HCビル）

内容： 13:10～13:30 受付

13:30～13:40 開会式

13:40～15:00 分科会

【テーマ】

A：プログラム B：就労支援 C：心理教育 D：個別支援

E：デイケアの機能と対象 F：デイケアの運営 G：発達障害

15:10～15:40 分科会内容の全体共有

15:45～17:15 講演：肥田 裕久先生（医療法人社団宙麦会 肥田クリニック院長）

座長：原 敬造先生（医療法人社団原クリニック院長）

17:15～17:30 閉会式

申込： <https://peatix.com/event/4323041>



※研究会内容についての問い合わせはメールでお願いします。事務局：dcmiyagi@hotmail.co.jp

※諸事情により当日のオンライン配信は行わないこととなりました。ご了承ください。

※研究会終了後、懇親会を予定しております。国分町周辺で18時30分～会費5,000円予定です。後日、参加される方に詳細を案内します。

※駐車場の準備はございません。公共交通機関または近隣のコインパーキングを利用ください。

※研究会・懇親会の申し込みは上記の **Peatix** での申込のみとなります。URLを直接入力するかQRコードを読み込み、必要事項を入力ください。

期限は**6月21日**まで、定員は先着50名となります。研究会参加費は一律1,000円です。当日受付に施設毎まとめてお支払いください。

《分科会のご案内》

コーディネーターからのコメント、キーワードです。

A：プログラム～個別支援、環境調整、効果的な運用

デイケアを利用する方のニーズが多様化しているなかでどのようなプログラム展開を図っていますか？効果的に運用するためのコツについて検討します。皆さんのデイケアプログラムのオススめや工夫していることも情報共有したいと思います。

B：就労支援～就労支援機関との連携、デイケアにおける目標設定、定着支援

精神科デイケアにおいて就労支援は利用者の回復を図るために重要な要素となっています。障害者雇用など社会における体制も整ってきました。就労移行など他機関との連携や目標設定をどのように行うか、またデイケアのプログラムを通した取り組みや就労した利用者への支援など情報共有したいと思います。

C：心理教育～病気の理解、家族教室

デイケアの活動において利用者や家族に向けた心理教育を実施していますか？どのような方法やテーマで実施していますか？各デイケアでの取り組みや課題点について情報共有したいと思います。

D：個別支援～その人らしい生き方への支援

「個性」とは他のものと異なる固有の性質や特性を指す言葉です。言い換えることでより具体的な表現やよりニュアンスのある表現が可能になります。

「個性」の言い換えとして「個性」「独自性」「特有性」「固有の特性」「自分らしさ」「持ち味」「キャラクター」などが挙げられます。

デイケアという集団の中で様々な人生を歩まれそれぞれの「個性」を持つ利用者、家族に対し私たちがどういう個別支援ができるか話し合いたいと思います。プログラムの枠にとらわれず必要なかわり工夫について一緒に考えられたらと思います。

E：デイケアの機能と対象～デイケアの対象、機能分化型デイケア、包括型デイケア

対象とする疾患や年代、力点を置く支援を明確にもしくはある程度定めているデイケアがあれば逆に利用者それぞれの状態や段階に応じた包括的な支援を行っているデイケアもあると思います。機能分化の方向性をとるにしろ、包括的な方向性をとるにしろ、そこにはそれぞれの効用もあれば、おのずと限界、難しさもあることでしょう。また同じような方向性を目指していても各デイケアでそれぞれの特色や苦労があることでしょう。当分科会ではこのようなことを踏まえつつもあまりこだわり過ぎず自由な話し合いができればと思います。

F：デイケアの運営～医療と福祉の連携、課題の整理

就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所、就労移行支援事業所など福祉的就労施設が増えてきました。各デイケアの利用者の動向、運営状況、そして医療と福祉の連携など現状と課題について情報共有します。そしてさらにこれからのデイケアの運営についても皆様と語り合いたいと思います。

G：発達障害～発達障害専門プログラム、ASD、ADHD、支援のあり方

平成30年度の診療報酬改定で、発達障害専門プログラムに対し、診療報酬（小規模ショートケア275点）に加算（200点）が認められるようになりました。ただし、大半の施設においては様々な疾患の方が混在するグループの中で「発達障害」を抱える方々の支援にあたられているのが実情ではないでしょうか。当分科会では、それぞれの施設における「発達障害」を抱える方々への支援ならではの難しさや気をつけていること、工夫していることなどについてざっくばらんに共有し、これからの支援について一緒に考えていければと思っています。